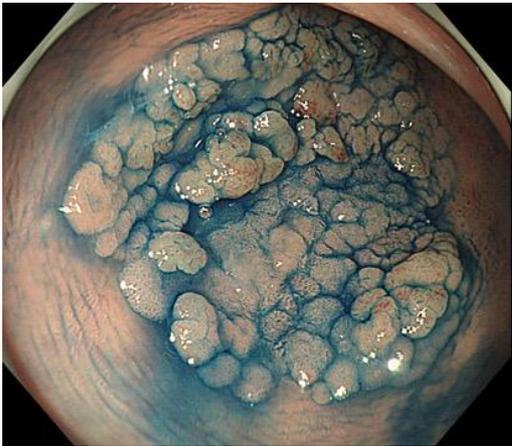


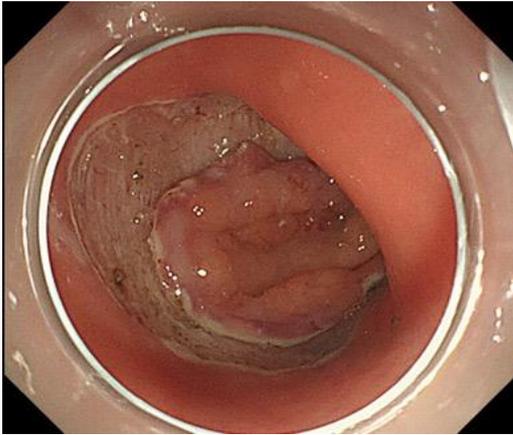
1. S 状結腸に認められた 4-5cm 大の側方発育型腫瘍 (LST)。



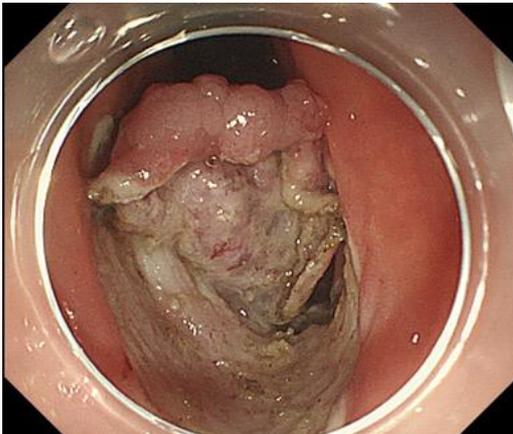
2. 青色色素 (インジゴカルミン) を撒布し病変範囲を確認します。



3. 狭帯域光 (NBI) 拡大観察で明らかな深部浸潤がないかを確認します。



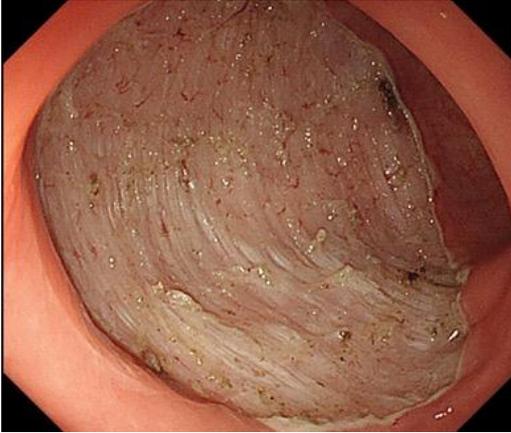
4. ESD 用デバイスを用い、全周性に腫瘍周囲の粘膜切開を行います。



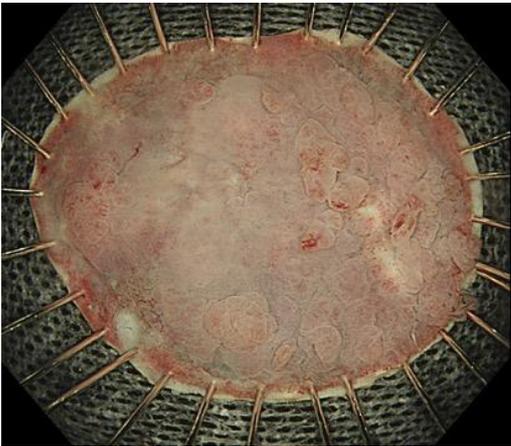
5. 反転操作で粘膜下層剥離をすすめています。8割程度の剥離を終えたところ。



6. 太い血管は止血鉗子で焼灼した後に切離します。



7. ESD 後の潰瘍。止血処置を行って処置終了です。



8. 一括で切除された病変。病理組織検査に提出します。